

甲寿園だより

法人理念：人が人として人とともに豊かに生きる

2022年 11月号

発行 2022年11月1日
特別養護老人ホーム甲寿園
西宮市甲山町53番地
TEL 0798-71-8236 FAX 0798-73-7303

メールアドレス kabuto.01@minos.ocn.ne.jp
ホームページ http://kojyuen.jp/

facebook



2階フロアの様子を紹介します



北館2階
散歩に行ってきました



南館2階

ケーキバイキング



甲寿園の元気印

甲寿園で元気に働く職員を紹介するこのコーナーが2年ぶりに帰ってきました！
今後も不定期で掲載予定です。



利用者様と一緒に
はい、チーズ！



南館3階 援助員

【趣味】家族と一緒に過ごすこと

【働いて嬉しかったこと】お声をかけると利用者様が満面の笑顔を見せてくださること

【甲寿園の魅力】アットホームな働きやすい職場です



園長のコーナー「サンポウヨシナシゴト」



今回は、ワタクシゴトを。私が福祉の仕事に就いて、もうじき満28年になります。28年前、私はとある特別養護老人ホームの寮父として働き始めました。甲寿園でいうところの援助員つまり介護職員は、当時の多くの特養ホームでは「寮母さん」と呼ばれていました。男性なので「寮父」ということでした。

就職する前の私は、専門的に介護や福祉を学んでいない青年でした。同級生で看護婦（これも当時の呼称）になったお友達がいる、その人は熱心なことに仕事をしながら社会福祉士の通信教育を受けていました。ある時、その人から「この日の対面でのスクーリングにどうしても行けないから」と身代わり受講（！？）を頼まれ、二つ返事でスクーリングに出たことがありました。今となってはよくそんなことができたなと思います、女性に扮することもなく無事ミッションを果たしたのでした。100人規模の受講生がおられ、7～8人の方とグループワークでお話しましたが、どなたもお仕事をしながら、できたばかりの国家資格の取得を目指す熱い志を持たれた方々でした。そんなこともあり、福祉の魅力を感じ始めていたことは確かでした。

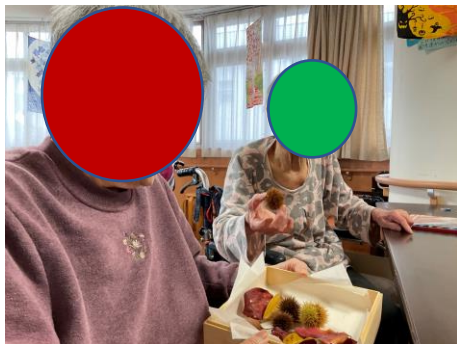
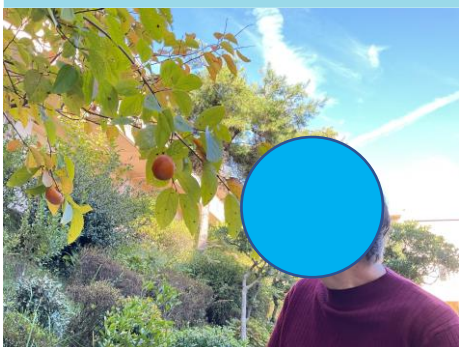
さて、「寮父」として働くことになった私の一番はじめのしごとについてです。私の指導担当の先輩はYさんという女性でした。のちのち振り返って考えるとYさんは、背中を見せて育てるタイプの師匠でした。とはいえ無口だとかではなく、質問すれば丁寧に応じてくださる方で、うーんそうですね、「あれこれ先に伝えて先入観を持たせることはしない」「一面的な見方・捉え方を押し付けることはしない」という方でした。

入居者と喫茶店に行く。これが私の一番はじめのしごとでした。4人くらい入居者と私、Yさんと喫茶店に行ってコーヒーを飲みました。私はしどろもどろになりながら、自己紹介したり入居者のお名前を伺ったり。あ、この方はストローでミックスジュースを上手に飲まれるな、でもグラスは近づけないと自分では持てないんだな、みたいなことを考えるが先か実際に動くが先かわからない感じでの初仕事でした。

かくして私は、「高齢者のケアというのはこうして普通の暮らしを支えることなんだな」ということを体感し、この道の第一歩を歩みはじめたのでした。（つづく）



リハビリ室からのお便り



栄養室より 今月の行事食



♪ 郷土料理 島根県 ♪



- ・ しじみごはん
- ・ 出雲そば
- ・ 芋煮
- ・ 柿なます

おやつは、どじょうすくい饅頭、おぜんざい、お汁粉の中から選んでいただきました☆



すっかり秋ですね。中庭に柿を見に行ったり、甲寿園の周りの色づいた葉や木の実を届けたり、秋の飾り作りもしています。

10月は全国の神々が出雲に集う月です。。神秘的な島根の魅力を味わっていただきました！